

火山調査委員会の活動状況

令和7年3月28日
火山調査研究推進本部
火山調査委員会

火山調査委員会（委員長：清水洋 国立研究開発法人防災科学技術研究所巨大地変
災害研究領域火山研究推進センター長／国立大学法人九州大学名誉教授）及び火山調
査委員会の下に設置している部会の活動状況は以下のとおり。

1. 火山調査委員会の活動状況（表1）

令和6年9月25日に第3回の委員会を開催し、関係行政機関、研究開発法人、
大学等の調査結果等を収集、整理、分析し、火山活動の現状の評価を審議した。
審議結果に基づき、我が国の111の活火山について、火山調査研究推進本部設立後
初めて評価文を取りまとめて公表した。また、現状の評価を踏まえ、最近1年間に
噴火した火山や、火山活動に変化がみられ観測データや調査研究等の充実等の方
策（調査研究方策）を検討すべき火山について、重点的に現状の評価を行うこと
とし、8火山（八幡平、岩手山、焼岳、硫黄島、桜島、薩摩硫黄島、口永良部
島、諏訪之瀬島）を選定した。

令和7年2月17日に第4回の委員会を開催し、これら8火山について、各火山
に詳しい専門家が中心となり、関係行政機関等のデータに加え、大学の研究成果
や民間企業の調査結果等も詳細に分析し、評価文及び調査研究方策を取りまとめ
た。

2. 機動調査観測部会の活動状況（表2）

令和7年3月3日に第2回の部会を開催し、第4回火山調査委員会において取り
まとめた8火山の調査研究方策を踏まえ、これらの火山に関する機動的な調査観測
の実施計画を取りまとめた。

表 1 火山調査委員会の開催状況

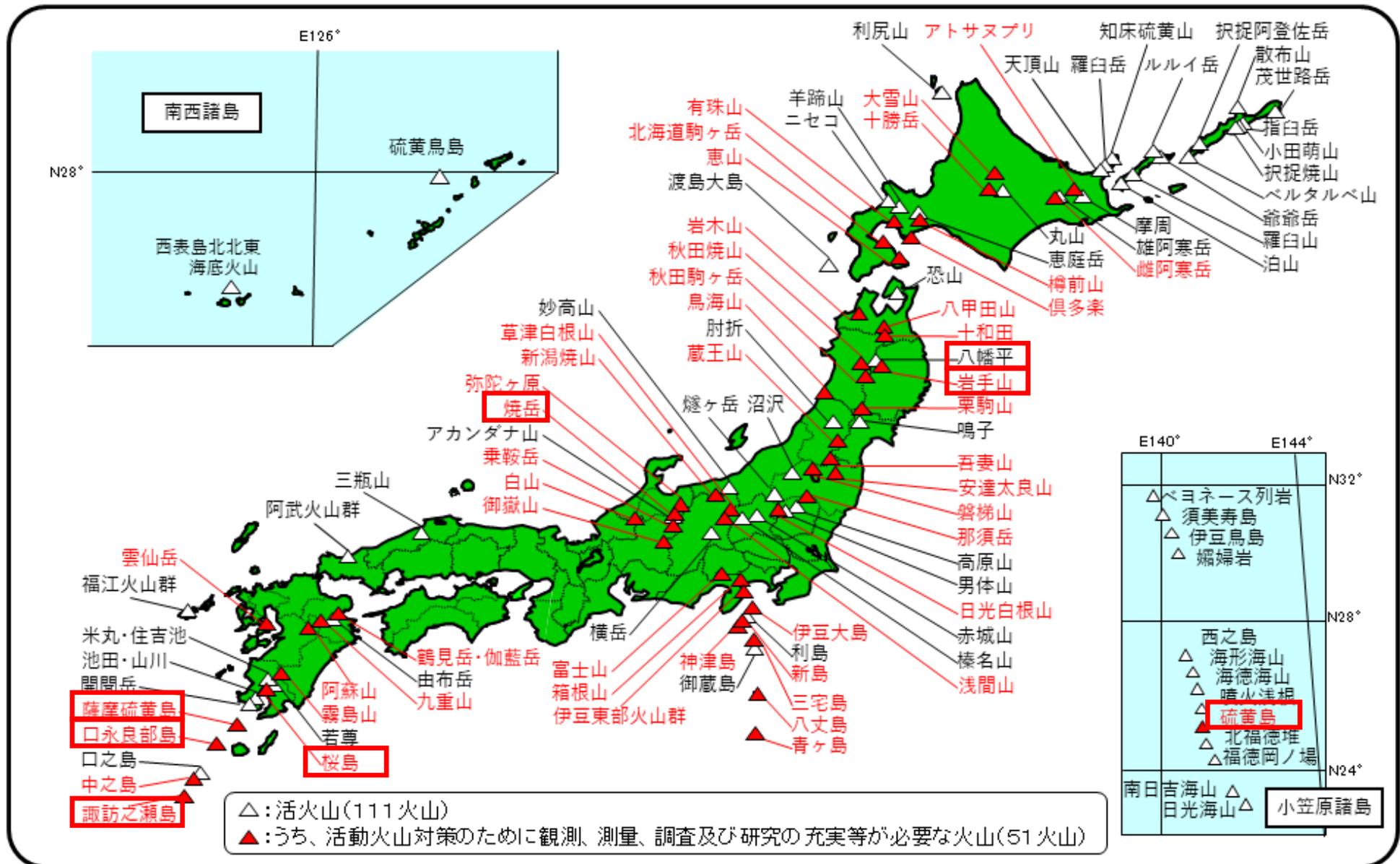
開催年月日	回	議 題
令和6年9月25日（水）	第3回	(1) 111の活火山の現状の評価について (2) 重点的に現状の評価を行う火山の選定について (3) その他
令和7年2月17日（月）	第4回	(1) 重点的な現状の評価について (2) その他

表 2 機動調査観測部会の開催状況

開催年月日	回	議 題
令和7年3月3日（月）	第2回	(1) 機動的な調査観測の実施計画について (2) その他

令和7年3月28日現在

日本の活火山（全111火山）



重点評価火山(8火山)(火山調査委員会で選定し、重点的な現状の評価を行った火山)